

長崎大学情報データ科学部・長崎大学病院臨床研究センター共催 特別講演会 2022年7月20日（水）開催

10:00～10:30 開場・受付

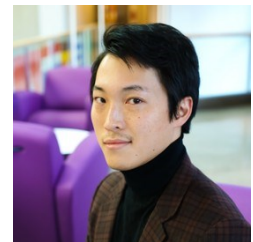
10:30～11:30 基調講演（Dr. Koichiro Shiba）

データサイエンス時代を生き抜くエビデンスの批判的吟味入門

概要：医療や教育などでエビデンス（科学的根拠）に基づいてプラクティスを進める動きがある。これらエビデンスの多くはデータ分析の結果を踏まえたものであり、企業経営においても、どのようなアクションが良いのかについてデータを活かした意思決定の重要性が増してきている。しかし、個々のエビデンスは様々な仮定や条件のうえで成立するものであり、これらの前提を吟味することなく無批判にデータ分析の結果を受け入れると危険である。特に大量のデータが利用可能なビッグデータ時代こそ、注意深く質の高い分析を行えるようになるだけでなく、情報の消費者としてエビデンスのクオリティを自分の頭で考え取捨選択するスキルが必要になる。しかし、データサイエンス教育は「どのようにデータを分析すべきか」というハウツーに焦点をあてがちである。本講演では、意思決定のためのエビデンス作りにおけるデータ分析の方法だけでなく、データ自体の質や分析結果の解釈を批判的に吟味できるようになるための考え方をご紹介します。

講演者紹介：Dr. Koichiro Shiba

略歴：2020年にハーバード大学大学院より、Population Health Sciencesの分野で博士号を取得。専門は、疫学における統計的因果推論。博士号取得後、Harvard T.H. Chan School of Public HealthにてResearch Fellowを務める。2022年8月より、ボストン大学Assistant Professorに着任予定。



主要論文1：Shiba & Kawahara. (2021). Using propensity scores for causal inference: Pitfalls and tips, *Journal of Epidemiology* 31 (8), 457-463.

主要論文2：Shiba et al. (2021). Causal inference in studying the long-term health effects of disasters: Challenges and potential solutions, *American Journal of Epidemiology* 190 (9), 1867-1881.

その他：Impact Factor付き論文30編（うち筆頭17編）。

11:30～12:00 パネルディスカッション

Dr. Koichiro Shiba (Harvard T.H. Chan School of Public Health)

植木優夫，松本拓高，高橋将宜（長崎大学情報データ科学部）；田代将人，佐藤俊太郎（長崎大学病院）

お申込み

事前申込制です。Google Formより申し込みをお願いします。

参加費：無料（先着200名程度），会場：文教キャンパス

Google Form：<https://bit.ly/3zjOHv4>



Google Form

お問い合わせ先1：長崎大学情報データ科学部 高橋将宜 m-takahashi▲nagasaki-u.ac.jp

お問い合わせ先2：長崎大学病院臨床研究センター 佐藤俊太郎 shuntarosato▲nagasaki-u.ac.jp

（▲を@に変更して送信ください。）